

# 五小っ子

平成30年度 学校便り第18号 (12月12日)

島原市立第五小学校  
校長 永田 俊文



いのち **学校教育目標**  
『生命を大切にし、進んで学ぶ  
心身ともにたくましい子どもを育成する』  
○ やさしさいっぱい ○ かしこさいっぱい ○ たくましさいっぱい  
教育目標実現を目指し、子どもたち一人ひとりを大切に、全職員で力を  
合わせ、日々の教育活動に取り組みます。

## たくましさいっぱい



2学期も残り2週間、厳しい寒さの時期となりました。市内小・中学校でもインフルエンザ罹患者がはじめています。手洗い&うがいの励行に家庭でも努めましょう。

さて、先週金曜日の持久走大会の応援に駆けつけてくださった多くの皆様に改めてお礼を申し上げます。

1年生にとっては、小学校初めての、6年生にとっては小学校最後の持久走大会です。1年生も1000m、高学年は2000mという長い距離に挑戦します。会場となる復興アリーナ周回コースまでの往復徒歩を加えると、相当な運動量になります。こうした鍛錬を通じて「自分に勝つこと」の大切さを学んで欲しいと願っています。6年学級通信感想の一部からも大会の意義を確認する事が出来ます。

### —持久走大会で学んだ事—

- **学んだ事は、自分に打ち勝つ勇気があることと、プレッシャーには負けたくないことだと思いました。** (出田くん)  
親の応援とかがあってここまでこれたと思います。
- **速いも遅いも関係なく、最後まで走りきるという気持ちをもって、あきらめずにゴールを目指すことが大切だということを学びました。** (久我くん)
- **最後まで一生懸命走ると、自分の目標を達成することができることを学びました。**



小学校最後の持久走大会で楽しく走りきることができて良かったです。去年より11秒も速くなりました。(小鉢さん)

• **何でも最後まであきらめたり、気を抜いたりせずやりきることを学びました。持久走大会は、人との勝負ではなく、自分との勝負で自分に勝てたと思います。**(下田くん)  
2学期も最後の最後まで「学習・生活」両側面を担任を中心に鍛えられ、自身で鍛えて伸びてゆく6年生にエールをおくります。

※陽菜乃さんは、6年連続優勝です。

## やさしさいっぱい 一人権集会「校長あいさつ」から抜粋



人権って何だろう？  
人権というのは、世界中の全ての人大切にされるということなのです。

今から70年前の12月10日、この地球上からみにくい争いをなくしたいという強い願いからフランスのパリにおいて、「すべての人とすべての国とが達成すべき共通のめあて」として、「世界人権宣言」が決められました。

12月10日は世界中の国が人権について考える「世界人権デー」という大切な日なのです。

そして、今年は70回目の節目の年でもあります。日本では今日12月4日から12月10日までの1週間を人権週間と決めて、いろいろな行事が行われます。

天気が悪く金曜日に延期したヒマワリの種を乗せた風船飛ばしもそうです。

そのメッセージカードに5年生男子のこんな言葉があったので紹介します。

**あなたが拾ってくれて嬉しいです。  
種を受け取ってもらえますか？**


どうです。とても素敵な言葉でしょう。この言葉だけではありません。あいさつ通りに掲示してある「人権標語優秀作品」も各学級の「仲よし宣言文発表」「全校合唱」どれも大変素晴らしいと感心しています。

今日は、島原市人権擁護委員協議会の皆様に読み聞かせをしていただきました。永石先生の絵本「ヒマワリの詩」のお話は私たちの心にしっかりと残りました。

今日の人権集会でまた一つ『やさしさいっぱい』が育ったと思います。

※風船メッセージを拾った方からの返事をみんな首を長くして待っています！！





さかむけ  
金子みすゞ

なめても、すつても、  
まだいたむ  
べにさし指のさかむけよ。  
おもいだす、おもいだす、  
いつだかねえやに  
きいたこと。  
「指にさかむけできる子  
は、親のいうときかぬ  
子よ。」  
おとつい、  
すねてないたっけ、  
きのうも、  
お使いしなかった。  
かあさんにあやまりや、  
なおろうか。

※学校HPからカラー版を見ることが出来ます。(5sho.netで検索)